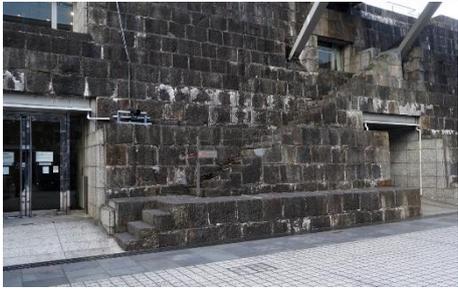


■After 建築名称 下段: 英語名	ドックヤードガーデン dockyard garden		
建築用途	大分類 集会施設	小分類 イベントスペース	
改修設計者	三菱地所設計 (当時: 三菱地所)	URL	
所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1	Google Map	
改修年	1993年		
建築規模			After ドックヤードとランドマークタワー
掲載書誌	重要文化財「旧横浜船渠株式会社第二号船渠(ドック)」保存の意義、『横浜船渠ドック物語』横浜みなと博物館		撮影者提供者 桐原武志 2023年
賞・選定	国重要文化財、横浜市認定歴史的建造物		概要 after 横浜博覧会のため埋立てられていた二号ドックを発掘し、長さを10m縮小、位置を30m移動し、横浜ランドマークタワーの関連施設、港街横浜の歴史を伝える施設として復元
■Before 建築名称	横浜船渠第2号ドック		概要 before 明治29年に建設された船舶補修用のドック。民営のものとしては、現存最古の石造乾船渠(ドライドック)1973年にその役割を終えた、
建築用途	大分類 その他	小分類 ドック	
■写真 Before 稼働時の第二号船渠	After ドックを構成する真鶴町産の小松石	After 渠壁の内部に設けられた飲食店街「みらい横丁」	
			
撮影者提供者 提供: 三菱地所	撮影者提供者 桐原武志 2023年	撮影者提供者 桐原武志 2023年	
■リノベーション内容	キーワード 用途変更、復元、遺構	内容 現存する日本最古の商船用石造りドックである「旧横浜船渠(せんきょ)第2号ドック」。横浜博覧会の会場になるため埋立てられていたが、展覧会終了後に発掘され、断面は忠実に復元するが、敷地の形状から長さを10m縮小すると共に、復元位置を30m移動し、ランドマークタワーの関連施設「ドックガーデン」として復元された。船の修理が行われていた渠室部分はイベント広場として活用され、日常的には自由に入ることが出来る。復元に際しドックヤードの活用を促進するため、床には新しい石材が貼られ、渠壁の内部には食のエンタテインメントゾーン「みらい横丁」や、街のシェアスペース「BUKATSUDO」などが設けられている。1989年には横浜市認定歴史的建造物に指定、1997年には国の重要文化財に指定され、活用型保存が文化財として初めて評価される事例となった。	
■備考			
■作成者 氏名/所属	桐原武志/Free JIA再生部会		管理者 記載